



大内中だより

さつきの丘

Webページはこちら→

令和8年3月13日
第43号



第11期卒業証書授与式

3月7日（土）午前由利本荘市長 湊 貴信 様 他たくさんのご来賓、保護者の皆様のご参列の下、由利本荘市立大内中学校第11期卒業証書授与式が挙行され、卒業生44名に卒業証書が授与されました。ここでは、式での送辞と答辞をご紹介します。



送辞

寒さの中にも、どこか春の柔らかな光が感じられる三月、この大内中学校を卒業される四十四名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

これまで、本当にたくさんの思い出を胸に刻んできたことと思います。卒業を迎える今、皆さんは、この三年間をどのように振り返っていらっ

しゃるでしょうか。

今年度、創立十周年を記念して様々な行事が行われました。

「勝磨躍輝(かばやき)～勝って輝くために互いを磨き躍動する～」というテーマのもとに行われた運動会。グラウンドに響き渡った応援の声、最後の一瞬まで勝敗を競い合った真剣な表情、仲間を励まし合う姿。それらは私たちに、「本気で取り組むことの尊さ」と「仲間を信じる力」を教えてくださいました。先輩方が全力で走る背中、今でも私たちの心に鮮やかに刻まれています。

また、最大の学校行事である大中祭では「今日はしゃいじゃってもイイじゃん！ 笑顔満10! 大中Festival !」のテーマのもと、各部門で三年生が指揮を執り、リーダーとしてまとめてくださったおかげで大中祭を大成功させることができました。合唱コンクールでの三年生の美しい歌声から、何度も練習を重ねたことが伝わってきました。中でも三年生全員で歌った「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」は三年間の集大成を感じさせる、感動的で素晴らしい合唱でした。

そして、創立十周年式典。

学校の節目を迎える特別な年に、先輩方と同じ時間を共有できたことは、私たちにとって誇りです。式典の準備や記念企画では、先輩方が率先して動き、学校をよりよくしようとする姿勢を示してくださいました。一緒に踊った大中ソーランは忘れられません。

部活動では、私たちにも優しく指導していただき、練習技術はもちろん、あいさつや返事などの礼儀についても身に付くまで丁寧に教えてくださいました。できなかったことができるようになると、自分のことのように喜んでくださいました。一方で自分自身の目標達成をめざす、爽やかで真剣な三年生のまなざしはとて頼もしく感じました。試合等ではどんなピンチの時でも声をかけ、良い方向へ導いてくださる先輩方はあこがれであり、「先輩はこうあるべき」という答えを私たちに教えてくださいました。優しい頼れる先輩と一緒に部活動ができた思い出は、私たちにとってかけがえのない宝物です。

そして「あいさつ日本一」を目指す学校づくり。特に三年生の明るい爽やかな挨拶はいつでも私たち一・二年生のお手本でした。三年生の皆さんが学校生活の中で常に中心に立ち、私たちの心の支えとなって築き上げてくださったこの伝統は、私たちが引き継いでいきます。

本日、皆さんの旅立ちの日にあたり、私たちは感謝の気持ちでいっぱいです。私たちを今まで支え、前を歩いてくださっていた皆さんがいなくなってしまうのはとてもさみしく、不安です。

それでも、私たちはこれまでの日々を思い返し、皆さんが残してくれた伝統を引き継ぎ、十二年目の大内中を創っていきます。皆さんの後輩であることを誇りに思い、一歩でも近づけるように努力していきます。最後になりましたが、ご卒業、本当におめでとうございます。これからの健康とご活躍を心からお祈りし、送辞といたします。

令和八年三月七日

在校生代表 桃井 **



答辞

私達の心を映すかのように、涙雨が降り注ぐ今日、私達、十一期生四十四名はこの学び舎から巣立ちます。三年前、期待と不安と大きな希望を胸に迎えた入学式。新しい仲間や先生とここで出会いました。仲間とはすぐに打ち解け、日が経つごとに不安はなくなっていきました。また、初めての部活動や行事、委員会活動を通して、先輩方から多くのことを学び、先輩の偉大さを知りました。中学校での生活に慣れ、後輩ができた二年生。先輩として後輩を引っ張る機会が増え、自発的に行動するようになりました。

そしていよいよ、最高学年。生徒会のスローガン「開花」を念頭におきながら学校を盛り上げました。

今年は、十周年記念に関わる行事がたくさんありました。運動会での人文字、お笑い芸人ちえすさんの講演、全校生徒による迫力のある大中ソーランなど、全校生徒と地域の方々が一つになれた瞬間でした。

五月、楽しみにしていた大阪への修学旅行。念願のUSJでは、アトラクションを全力で楽しみ、大阪万博では、世界の技術や文化に圧倒されました。他にも、大阪の名物を食べたり、なんばグランド花月に行き、本物のお笑いを見たりして楽しみました。ドキドキしながら乗った飛行機やホテルでは、普段は語らない話で盛り上がり、今までにない、夢のような三日間でした。

運動会では、「勝磨躍輝」のテーマのもと、学年の壁を越えたエール合戦や、全員リレーが行われ、大中生の絆はより一層深まっていました。チームの仲間と楽しみ、笑顔を輝かせる姿は忘れられません。

そして、私たちが全校の先頭として立つ、最後の大中祭。「今日、はしゃいじゃってもいいじゃん 笑顔満点 大中Festival」のスローガンを掲げ、各部門での活動が始まりました。最高の中大祭を創るために、他学年の人と協力しながら準備をしたり、計画を立てたりしました。合唱コンクールでは、どのクラスも最優秀賞を目指して練習を重ね、本番では各クラスの絆が伝わる、美しいハーモニーを届けることができたと思います。特に、三年生の学年合唱は、聞いた人に感動を与えることができたのではないのでしょうか。そして、有志発表では歌やダンス、迫力のある大中ソーランなどで、会場を盛り上げました。私たちが作りあげた三年間の集大成は、最高の思い出になりました。

また、部活動も心に残っています。技術だけでなく、協力することの大切さや感謝の心も学びました。勝ちも負けも経験し、苦しい時もつらい時も、仲間と共に乗り越えてきた三年間は、これからの生活において、大いに役立つものとなることでしょう。

在校生の皆さん、力になれないことがあり、頼りない先輩だったかもしれませんが、信じてついてきてくれて、ありがとうございます。皆さんと過ごした時間は、将来忘れることのない大切な宝物です。春からは、みなさんが大内中学校の伝統を引き継ぎ、作り上げていくこととなります。仲間と協力し合い、互いに高め合っていきましょう。

先生方、優しく、時には厳しくご指導していただき、本当にありがとうございました。一人一人に、わかりやすく丁寧に教えて下さり、学ぶことの楽しさを知ることができました。また、悩みがあれば話を聞き、一緒になって考えて下さったおかげで、充実した学校生活を送ることができました。校務員さん、事務の先生、図書館の先生、保健の先生。どんなときも、安心して過ごせる環境を整え、支え続けて下さり、ありがとうございました。

お父さん、お母さん。中学生になり、少しは自立したつもりでしたが、何度も迷惑をかけ、支えてもらってばかりだったと思います。こんな私を、どんなときでも笑顔で見守っていただき、ありがとうございます。まだまだ未熟ですが、新しい環境でも努力を続け、必ず恩返しをします。もう少し、見守っててください。よろしくお祈りします。

そして、大好きな三年生のみんな。本当に唯一無二で仲のいい学年だったと思います。熱心に取り組んだこと、共に協力したこと、ぶつかりあったこと、くだらないことで笑いあったこと、みんなと過ごした三年間は、かけがえのない時間でした。でも、そんな生活も、もうすぐ終わってしまいます。大切に楽しい時間をありがとう。一人一人違う道を歩みますが、私たちは一生友達です。いつか、またどこかで出会ったときは、思い出話をして笑いあいましょ。

最後になりましたが、私たちの中学校生活を支えてくださったすべての方々、改めて御礼申し上げますとともに、大内中学校の更なる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

令和八年三月七日

卒業生代表 佐々木 ***



式辞では「卒業生が三年間で大きく成長し、多くの学びや経験を通して力を培ってきたこと」、「支えてくださったご家庭や地域、そして仲間への感謝を胸に、これから自ら考え最適な道を選び取りながら、自分らしい未来へ力強く歩み出していくことへの期待」についてお話ししました。

卒業の歌の在校生の「明日の空へ」、卒業生の「正解」は、歌声に心がこもっており、大変感動いたしました。

なお、メールでもお伝えしましたが、3月17日～23日にゆりほんテレビで、卒業証書授与の様子が放送されます。ぜひご覧ください。